

鳴神山～吾妻山山行報告

【山行日】 2017年4月2(日) 快晴

【集 合】 岩舟支所P AM 6:00

【費 用】 マイカー1台 : 1,200円

【メンバー】 CL:鈴木、 梶内、島田、関、
鶴見、藤原、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 6:00＝吾妻公園

P6:40/6:50＝大滝登山口 7:10/7:25～肩の広場

8:40～鳴神山 8:55/9:05～肩の広場 9:20～

花台沢ノ頭 10:05～金沢峠 11:05～大形山

11:10/11:20～伐採地ベンチ 11:55/12:20～

西方沢ノ頭 13:00～吾妻山 13:10/13:25～トンビ岩 13:50～吾妻公園P14:45/14:55＝岩舟支所P16:00

GWの雪山と夏山山行に向けてのロングトレーニング第2弾、鳴神山から吾妻山縦走を計画した。



登山口にトイレが無いので、下山口の吾妻公園駐車場に寄りトイレを済ませて登山口に向かう。大滝登山口に到着準備を整えたら、車を少し手前の路肩に止め、ストレッチを行い出発する。樹徳高校大滝山荘脇を登って行くと、沢沿いの林道を歩くようになる。間もなく正面に大滝が現れ、不動尊と石仏が安置されている。林道は滝を巻くように登り、滝の上に出る。沢沿いの山道になり、杉林の中を歩くが昨夜降った雪が融けて杉の枝から落ちてくる。しばらく登ると不動尊

が置かれている水場に到着し、小休止して衣服調整と水分補給をする。ここらあたりから雪が現れ、登山道脇の落ち葉が白く雪に覆われていた。思いがけない雪景色に、皆さん大喜びではしゃいでいた。急坂を登ると右手に建屋が見えるようになり、まもなく平らな稜線に出る。ここは肩の広場で、反対側の川内の駒形登山口からの道と合わさる。左に行くと吾妻山への縦走路だが、右に登り鳴神山山頂を目指す。登山道は真白く積雪が有り、滑らないよう慎重に登り山頂に着いた。山頂にはいくつかの石祠があり、360度の大展望が得られる。無風快晴で暖かく、雪化粧した山々の展望に皆大感激。果物と菓子を食べながら、のんびりと眺望を楽しみ山頂を後にする。肩の広場まで戻るが、積雪が有るので下りは苦勞する。何とか肩の広場まで戻り、吾妻山への縦走路を南に向かって進む。



ところが尾根は西風が強く、皆が寒いと言うので衣服調整し上衣を着る。小さなアップダウンを繰り返しながら進み、急坂を登り切ると花台沢ノ頭に



着く。西側が開け雪化粧した赤城山がとても大きく聳えている。ここらあたりから風は感じなくなり、再度衣服調整して上衣を脱ぐ。次のピークは三峰山で、山頂にはりっぱな石宮と神象が安置され、昔から信仰の山であることがうかがわれる。この先、急降下で降りた所が金沢峠で、左に下ると金沢集落で右に下ると大崩集落に出る。峠から直進し、登り返したピークが大形山山頂。ここで昼食の予定だったが、時間が早いのでお

やつを食べ先に進むことにする。

しばらく平坦な稜線歩きが続き、30分程歩くと伐採地にベンチが置かれた場所があり、ここでランチタイムとする。日当たりがよく絶好の休憩場所

で、温かいうどんやゆで卵、ミソピーナッツをいただく。この先の伐採地の異様な光景に皆驚かされた。伐採後植林した木が、グレーのネットに覆われて、山全体が木の墓地のような光景に見える。「なんか木の墓場みたいで気持ちが悪いね」と言いながら通り過ぎる。ここからもアップダウンを繰り返し、いくつものピークを越え、しだいに足が疲れてくる。ようやく村松峠に着き休憩し、柏餅を食べて元気がでる。ここからは木の階段の登りが続き、今日一番つらい所だ。カタクリも



葉が出たばかりで、花は見られない。反射板がある雌吾妻山手前で、いくつかカタクリの花が咲いており疲れが癒される。雌吾妻山からいったん下り、登り返すと吾妻山山頂に着く。

山頂は大勢の登山者が昼食中で、足の踏み場もない程混雑していた。吾妻大権現が祀られた立派な石祠にお参りし、山頂の東側の空きスペースで休憩し、ここからタクシーにTELする。

眺望を楽しみながらリンゴやチョコを食べ、記念写真を撮ったら吾妻公園に向かって下山する。

トンビ岩まで下り最後の休憩を取り、ここから我輩は先行しタクシーで車回収に向かう。

予約した時間より早く降りたので、タクシーにTELすると5分くらいでタクシーが来た。

大滝登山口までタクシーで行き、車を回収して吾妻公園に着くと、皆さんが下山してきた。

トイレを済ませ帰路につき、途中アグリタウンで買い物し無事岩舟支所に帰着した。